



X500 シリーズのスキャン送信先および 警告メッセージのセットアップガイド

www.lexmark.com

2007 年 7 月

Lexmark および菱形の Lexmark デザインは、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の登録商標です。

© 2007 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

740 West New Circle Road

Lexington, Kentucky 40550

製品名：
Lexmark X500n

製品名：
Lexmark X502n

種類：
7100

機種：
010
110

改訂：2007年7月

以下の段落は、かかる条件を付すことが法令に抵触する国では適用されません。LEXMARK INTERNATIONAL, INC. は、この文書を「現状のまま」いかなる保証もなしに提供します。特定の目的への適合またはその目的での商品価値の暗示的な保証はもとより、明示的と暗示的とによらずいかなる保証も致しません。管轄地域によっては、特定の取引に際して明示的および暗示的保証からの免責宣言が禁止されているため、この条文が適用されない可能性があります。

この文書には、技術的に不正確な記述や誤植が含まれている可能性があります。ここに記載されている内容の改訂は定期的に行っており、改訂結果は今後の版に反映されます。記述されている製品やプログラムは、いつでも改良、変更されることがあります。

Lexmark テクニカルサポートについては、support.lexmark.com を参照してください。

消耗品やダウンロード物の情報については、www.lexmark.com を参照してください。

インターネットにアクセスできない場合は、以下の Lexmark まで郵便でご連絡ください。

Lexmark International, Inc.
Bldg 004-2/CSC
740 New Circle Road NW
Lexington, KY 40550

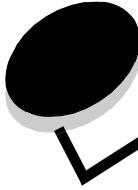
本文書中で言及されている製品、プログラム、またはサービスがすべての国で入手可能であるとは限りません。特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合であっても、それらの製品、プログラム、またはサービスのみが使用できるという意味ではありません。既存の知的所有権に抵触しない限り、機能的に同等な製品、プログラム、またはサービスを代わりに使用することができます。弊社製品と組み合わせて他の製品、プログラム、またはサービスを使用する際の評価および試験は、製造者により明示されているもの以外はユーザの責任とします。

© 2007 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

米国連邦政府の権利制限

本契約のもとで提供される本ソフトウェアおよび付属の説明書類は、自社費用によってのみ開発された商用コンピュータソフトウェアおよび説明書です。



目次

第 1 章 概要	4
第 2 章 E メールアドレスにスキャンデータを送信する	6
サンプル E メール	7
第 3 章 FTP アドレスにスキャンデータを送信する	9
第 4 章 コンピュータにスキャンデータを送信する	11
Windows XP でフォルダを共有する	11
内蔵 Web サーバで PC へのスキャンデータの送信を設定する	12
第 5 章 FAX ダイヤル設定を行う	14
第 6 章 警告メッセージを設定する	15
サンプル警告メッセージ	16
第 7 章 SMTP を構成設定する	17

1

概要

本書で説明しているすべての機能は、内蔵 Web サーバから設定する必要があります。

内蔵 Web サーバにアクセスする方法

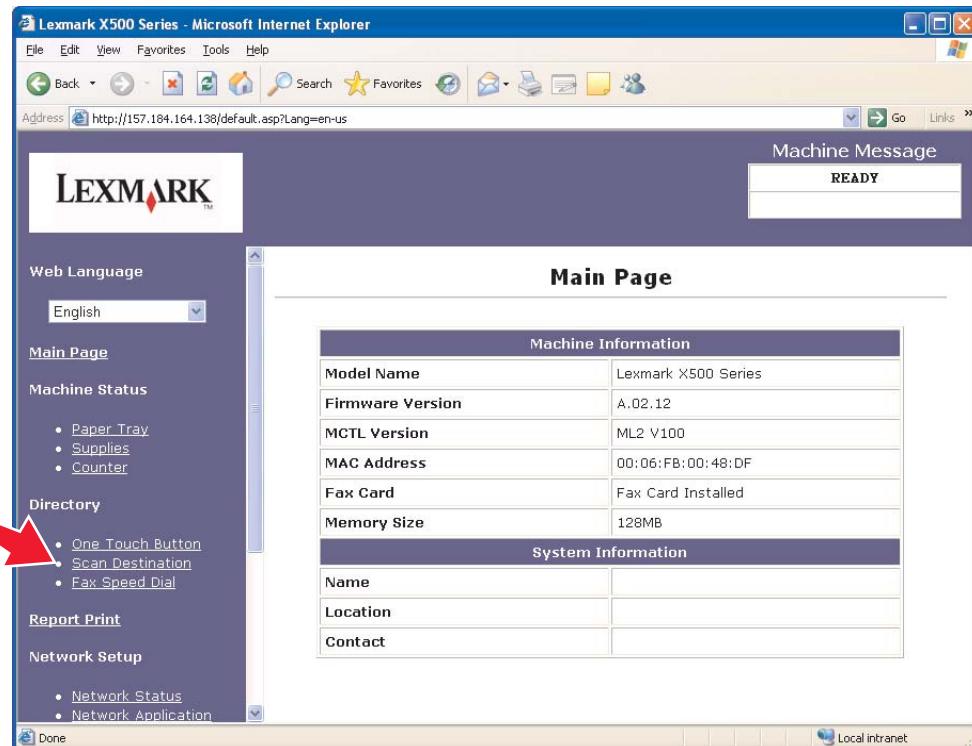
- 1 Web ブラウザを開きます。
- 2 アドレスバーにネットワークプリンタまたはプリンタサーバの IP アドレスを入力して、Enter キーを押します。

プリンタの IP アドレスが不明な場合は、プリンタの構成設定ページを印刷します。このページに IP アドレスが記載されています。
構成設定ページを印刷する方法

- 1 プリンタの電源が入った状態で、「Ready (準備完了)」と表示されていることを確認します。
- 2 操作パネルで ▲ を押します。
- 3 「Reports Print (レポートの印刷)」が表示されるまで、▲ または ▼ を何度か押してから、✓ を押します。
- 4 「Configuration Page (構成設定ページ)」が表示されるまで、▲ または ▼ を何度か押してから、✓ を押します。

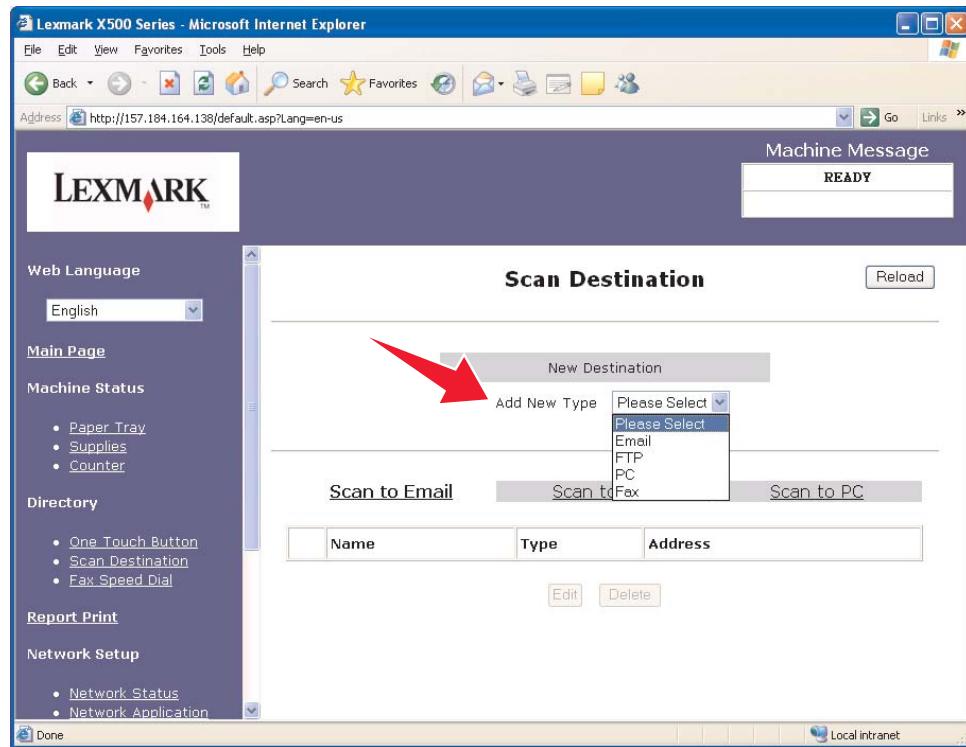
構成設定ページの印刷が終了すると、「Ready (準備完了)」と表示されます。IP アドレスは、1 ページ目の右側にあります。

内蔵 Web ページを開いたら、ページ左側の [Directory (ディレクトリ)] メニューから [Scan Destination (スキャンの送信先)] を選択して、スキャンの新しい送信先を設定します。



概要

[New Destination (新しい送信先)] の下にある [Add New Type (新しい種類を追加)] ドロップダウンメニューを開きます。追加するスキャンの送信先の種類を選択します。詳細については、本書の該当するセクションを参照してください。



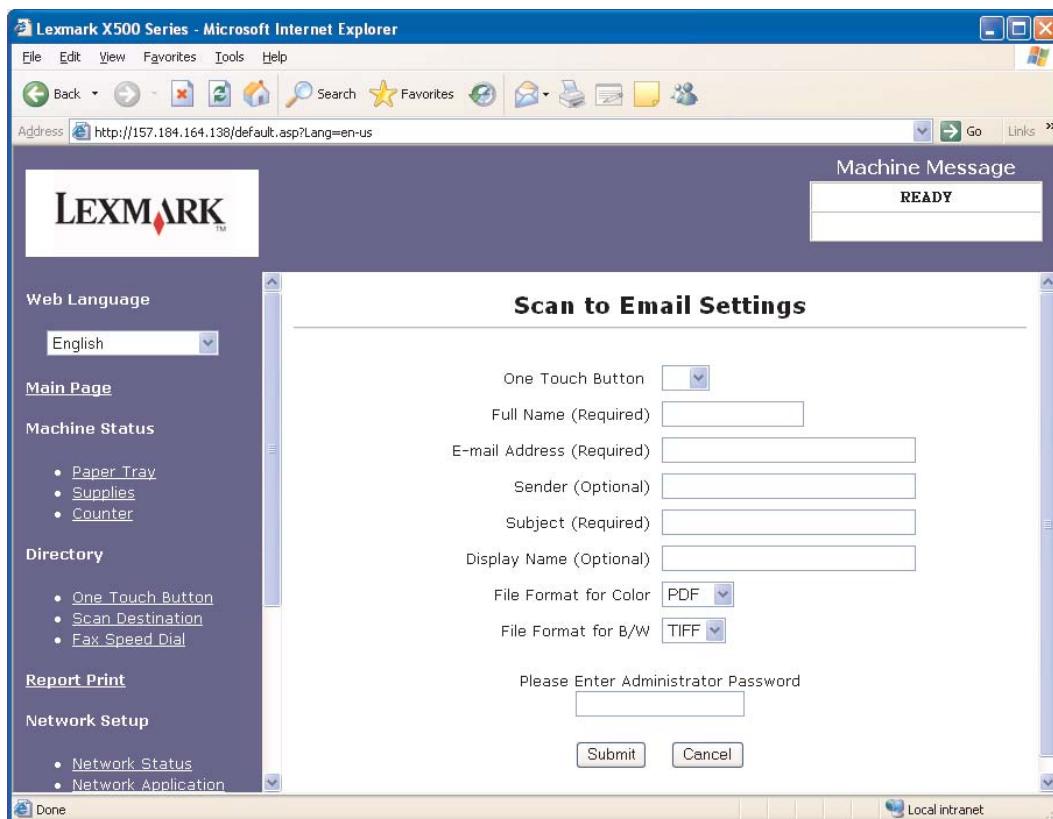
警告メッセージまたは SMTP の設定方法については、15 ページの「警告メッセージを設定する」および 17 ページの「SMTP を構成設定する」を参照してください。

2

E メールアドレスにスキャンデータを送信する

メモ：この機能を使用するには、SMTP を構成設定する必要があります。詳細については、17 ページの「SMTP を構成設定する」を参照してください。

[Add New Type (新しい種類を追加)] ドロップダウンメニューから [Email (E メール)] を選択すると、入力の必要な以下の情報が表示されます。



フィールド	説明
One Touch Button (ワンタッチボタン)	一覧から番号 (1 ~ 20) を選択します。選択した番号は、この受信者にアクセスするときに押す、プリンタ上のボタンに対応します。
Full Name (Required) (氏名 (必須))	この受信者が選択されたときに、プリンタに表示する名前を入力します。
E-mail Address (Required) (E メールアドレス (必須))	この受信者の E メールアドレスを入力します。

E メールアドレスにスキャンデータを送信する

フィールド	説明
Sender (Optional) (送信者 (オプション))	表示するメッセージの送信元 E メールアドレスを入力します。受信者が E メールメッセージを受信すると、メッセージの送信者としてこのアドレスが表示されます。このフィールドを空白にした場合は、送信者アドレスとして受信者アドレスが表示されます。 メモ ：一部の E メールサービスでは、このフィールドに有効な E メールアドレスを入力する必要があります。特定の E メールプロバイダの SMTP サーバを使用するように SMTP 設定を構成しているときにこの機能が無効な場合は、同じ E メールプロバイダの有効な E メールアドレスを入力する必要のある場合があります。たとえば、「smtp.youremailprovider.com」という SMTP サーバを使用している場合は、このフィールドに「johndoe@youremailprovider.com」などの有効な送信者アドレスを入力する必要があります。 また、このアドレスには、E メールアドレスへのスキャンデータの送信が正常に完了したことを知らせる通知が送信されます。このフィールドを空白にした場合、通知 E メールは送信されません。ここに E メールアドレスを入力する場合は、必ず有効な E メールアドレスを入力してください。有効でない場合、この機能は動作しません。
Subject (Required) (件名 (必須))	E メールメッセージに表示される件名
Display Name (Optional) (表示名 (オプション))	メッセージの送信者として表示される名前
File Format for Color (カラーイメージのファイル形式)	カラースキャンを保存するために使用する形式を選択します。
File Format for B/W (モノクロイメージのファイル形式)	モノクロスキャンを保存するために使用する形式を選択します。
Please Enter Administrator Password (管理者パスワードを入力してください)	設定されている場合は、管理者パスワードを入力します。標準設定ではパスワードは設定されていません。その場合、このフィールドは空白にします。

サンプル E メール

以下のセクションに、プリンタが送信する E メールメッセージの形式を示します。二重引用符 ("") で囲まれたテキストは、ユーザによって入力されるフィールドの名前です。まるかっこ内に注記されている場合を除いて、これらのフィールドは「Scan to E-mail (E メールアドレスへのスキャンデータの送信)」設定ページにあります。

E メールアドレスへのスキャンデータの送信

差出人 : "Display Name" <"Sender">

宛先 : "E-mail Address"

件名 : "Subject"

本文 :

[指定された形式の添付ファイル]

通知 E メール

差出人 : <"System Admin E-mail"> (「SMTP」設定ページにあります)

宛先 : "Sender"

件名 : Push Scan Notify

本文 :

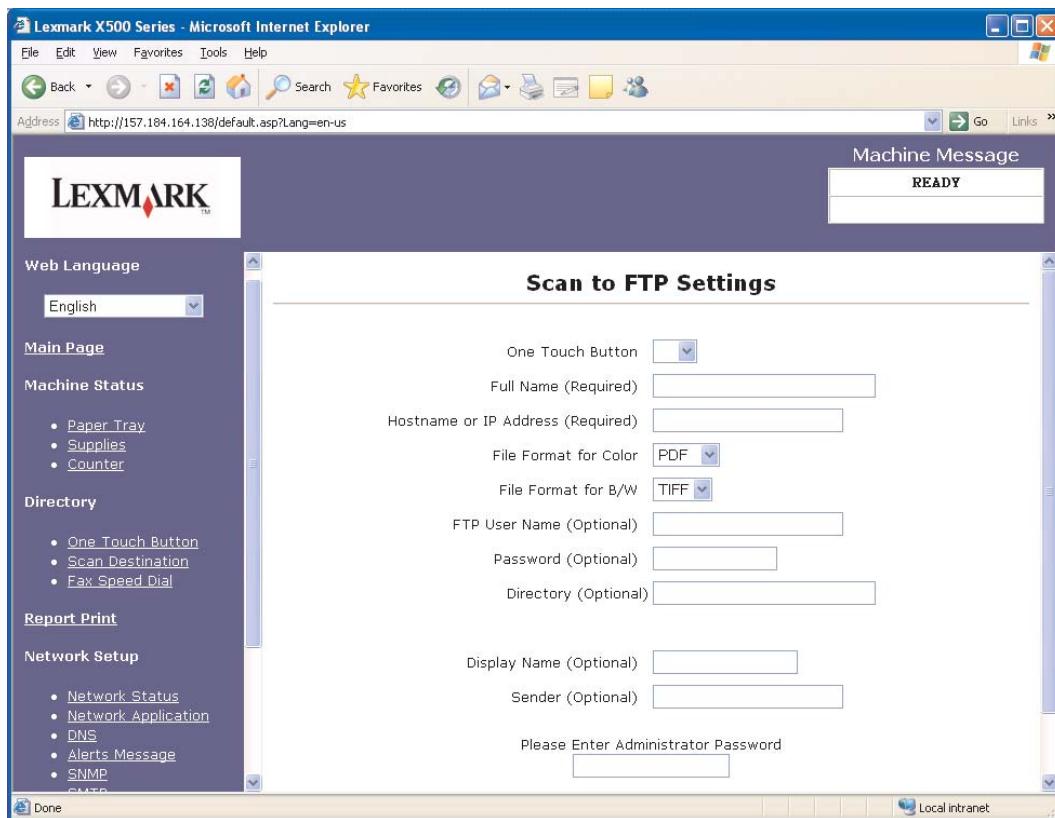
Job : Scan To E-Mail, "E-mail Address"

Job : Action Success

3

FTP アドレスにスキャンデータを送信する

[Add New Type (新しい種類を追加)] ドロップダウンメニューから [FTP] を選択すると、入力の必要な以下の情報が表示されます。



フィールド	説明
One Touch Button (ワンタッチボタン)	一覧から番号 (1 ~ 20) を選択します。選択した番号は、この FTP サーバにアクセスするときに押す、プリンタ上のボタンに対応します。
Full Name (Required) (氏名 (必須))	この FTP サーバ選択されたときに、プリンタに表示する名前を入力します。
Hostname or IP Address (Required) (ホスト名または IP アドレス (必須))	スキャンデータを送信する FTP サーバのホスト名または IP アドレス
File Format for Color (カラーイメージのファイル形式)	カラースキャンを保存するために使用する形式を選択します。
File Format for B/W (モノクロイメージの ファイル形式)	モノクロスキャンを保存するために使用する形式を選択します。

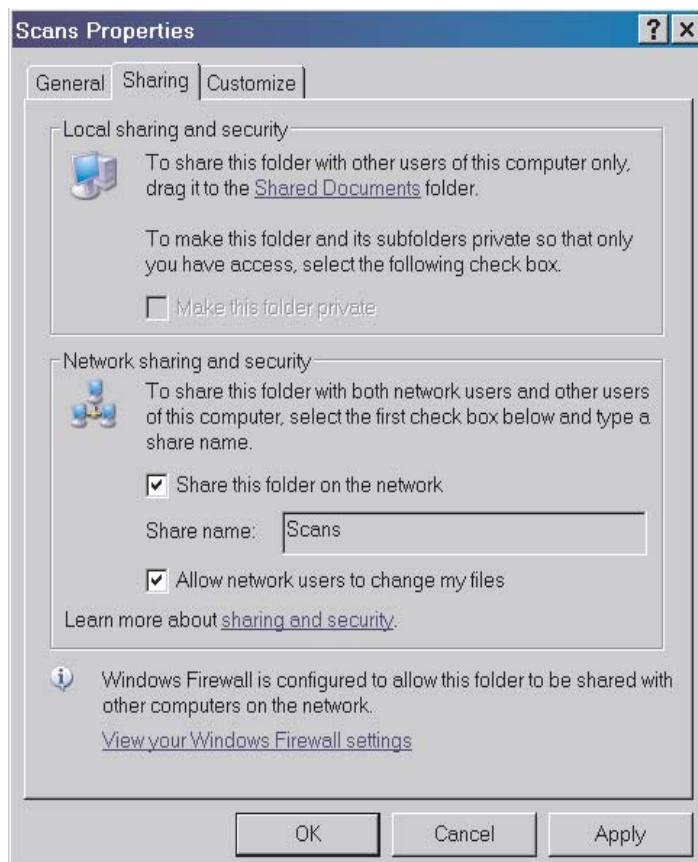
FTP アドレスにスキャンデータを送信する

フィールド	説明
FTP User Name (Optional) (FTP ユーザ名 (オプション))	FTP サーバにログインする必要のある場合に、ユーザ名を入力します。
Password (Optional) (パスワード (オプション))	FTP サーバにログインする必要のある場合に、パスワードを入力します。
Directory (Optional) (ディレクトリ (オプション))	ファイルを保存するサブディレクトリへのパスを入力します。たとえば、ホームディレクトリに Lexmark という名前のフォルダがあり、その中に Scans という名前のフォルダがある場合、このフォルダにファイルを保存するには、このフィールドに「¥Lexmark¥Scans」と入力します。
Display Name (Optional) (表示名 (オプション))	FTP サーバの表示名を入力します。
Sender (Optional) (送信者 (オプション))	FTP サーバの送信者情報を入力します。
Please Enter Administrator Password (管理者パスワードを 入力してください)	設定されている場合は、管理者パスワードを入力します。標準設定ではパスワードは設定されていません。その場合、このフィールドは空白にします。

Windows XP でフォルダを共有する

コンピュータにスキャンデータを送信するには、コンピュータの共有フォルダにファイルを送信する必要があります。コンピュータのフォルダを共有する方法

- 1 共有するフォルダを右クリックして、[プロパティ] を選択します。
- 2 [共有] タブを選択します。

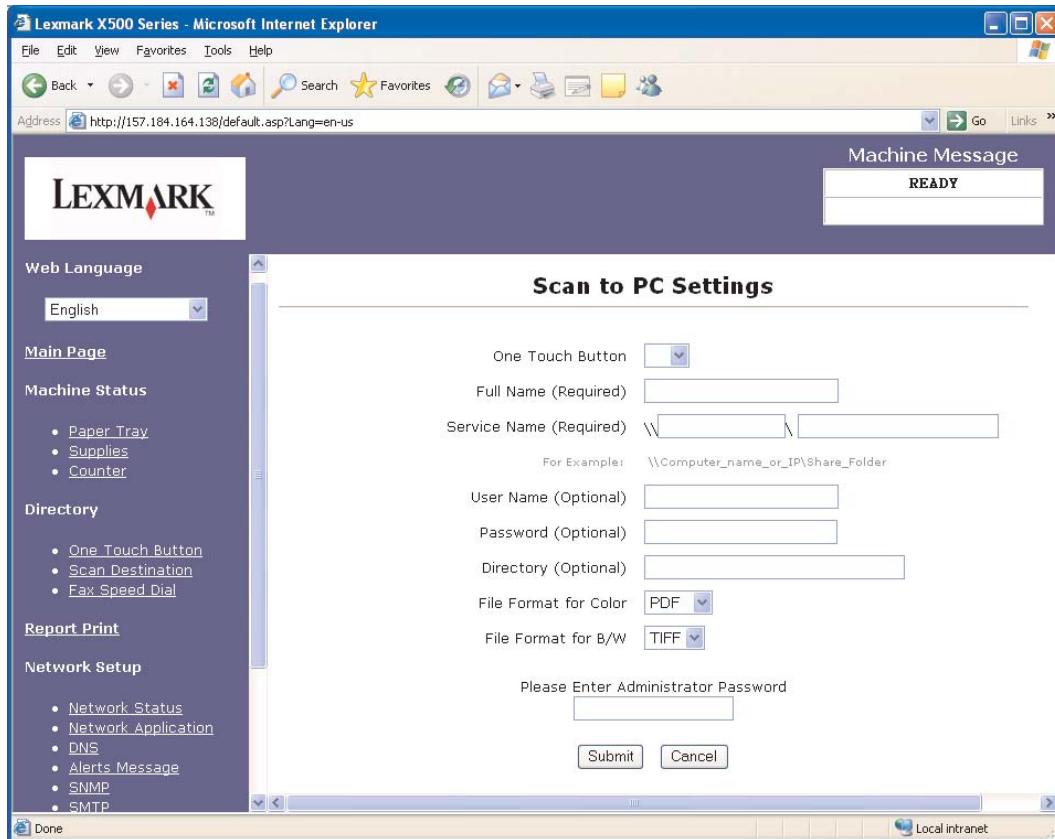


- 3 [ネットワーク上の共有とセキュリティ] セクションで、[ネットワーク上でこのフォルダを共有する] と [ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する] の両方が選択されていることを確認します。[共有名] は、このフォルダにスキャンデータを送信するときに使用する名前です。標準設定では、共有名はフォルダ名と同じです。

メモ：[共有] タブにこれらのオプションが見つからない場合は、共有が無効になっている可能性があります。その場合は、共有ウィザードを使用して共有を有効にするためのリンクが表示されます。

内蔵 Web サーバで PC へのスキャンデータの送信を設定する

[Add New Type (新しい種類を追加)] ドロップダウンメニューから [PC] を選択すると、入力の必要な以下の情報が表示されます。



フィールド	説明
One Touch Button (ワンタッチボタン)	一覧から番号 (1 ~ 20) を選択します。選択した番号は、この PC にスキャンデータを送信するときに押す、プリンタ上のボタンに対応します。
Full Name (Required) (氏名 (必須))	このコンピュータが選択されたときに、プリンタに表示する名前を入力します。
Service Name (Required) (サービス名 (必須))	1 番目のフィールドには、共有フォルダがあるコンピュータのコンピュータ名または IP アドレスを入力します。 2 番目のフィールドには、コンピュータの共有フォルダの共有名を入力します。 メモ：2 番目のフィールドには、ドライブ文字またはファイルパスは含まず、共有名のみを入力してください。コンピュータのフォルダの場所はどこでも問題ありません。共有フォルダは共有名を使用して検索されます。
User Name (Optional) (ユーザ名 (オプション))	共有リソースが保護されている場合は、ここにユーザ名を入力します。
Password (Optional) (パスワード (オプション))	共有リソースが保護されている場合は、ここにパスワードを入力します。

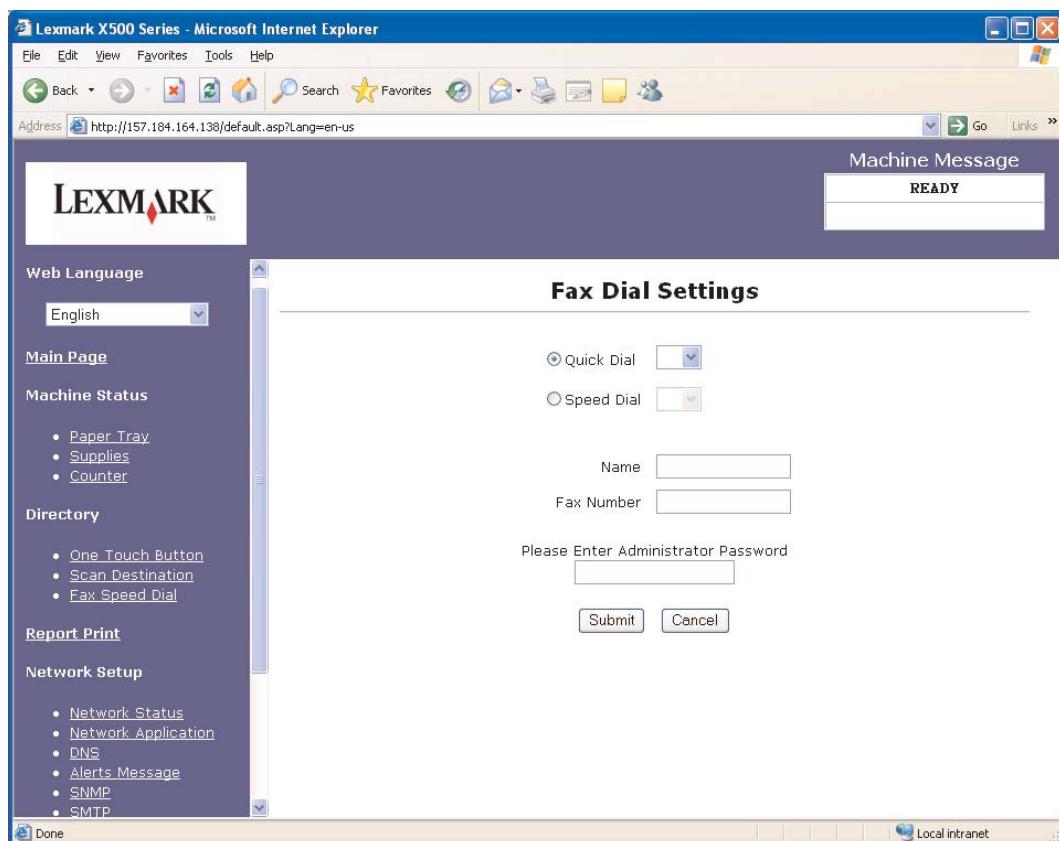
コンピュータにスキャンデータを送信する

フィールド	説明
Directory (Optional) (ディレクトリ (オプション))	ファイルを保存するサブディレクトリへのパスを入力します。たとえば、共有フォルダに Lexmark という名前のフォルダがあり、その中に「Scans」という名前のフォルダがある場合、このフォルダにファイルを保存するには、このフィールドに「¥Lexmark¥Scans」と入力します。
File Format for Color (カラーイメージのファイル形式)	カラースキャンを保存するために使用する形式を選択します。
File Format for B/W (モノクロイメージの ファイル形式)	モノクロスキャンを保存するために使用する形式を選択します。
Please Enter Administrator Password (管理者パスワードを 入力してください)	設定されている場合は、管理者パスワードを入力します。標準設定ではパスワードは設定されていません。その場合、このフィールドは空白にします。

5

FAX ダイヤル設定を行う

[Add New Type (新しい種類を追加)] ドロップダウンメニューから [Fax] を選択すると、入力の必要な以下の情報が表示されます。



フィールド	説明
Quick Dial (クイックダイヤル)	一覧から番号 (1 ~ 20) を選択します。選択した番号は、この受信者にアクセスするときに押す、プリンタ上のボタンに対応します。
Speed Dial (短縮ダイヤル)	一覧から番号 (1 ~ 50) を選択します。選択した番号は、ディレクトリの受信者情報に保存されます。ディレクトリには、プリンタの [ディレクトリ] ボタンを押すとアクセスできます。
Name (名前)	受信者の名前を入力します。
Fax Number (Fax 番号)	受信者の FAX 番号を入力します。
Please Enter Administrator Password (管理者パスワードを入力してください)	設定されている場合は、管理者パスワードを入力します。標準設定ではパスワードは設定されていません。その場合、このフィールドは空白にします。

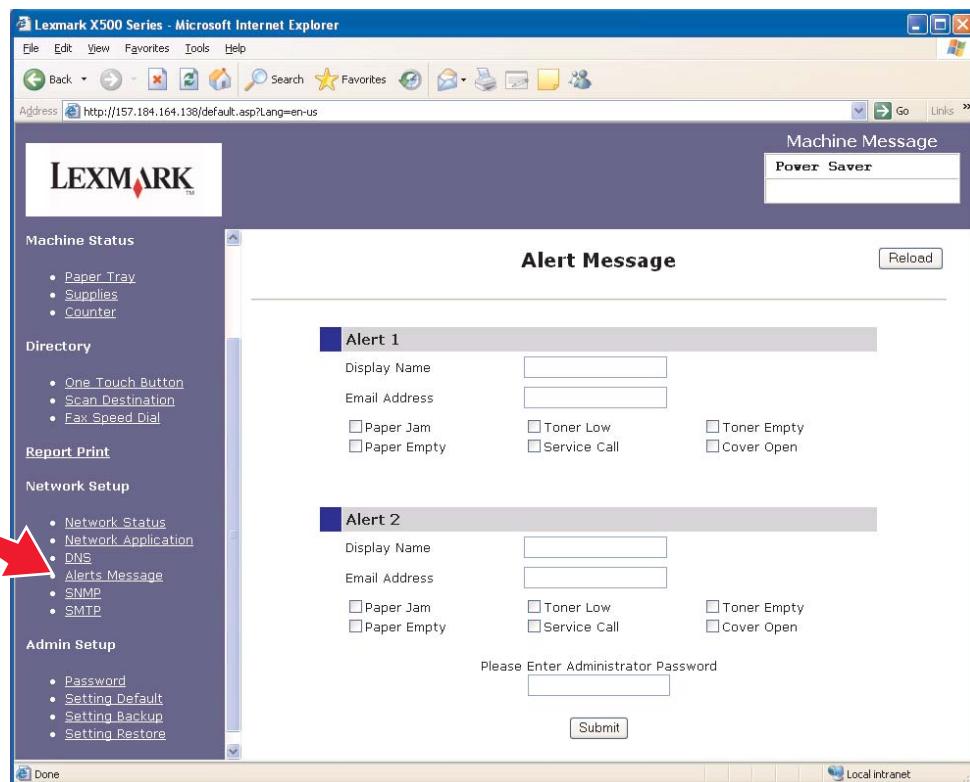
6

警告メッセージを設定する

メモ：この機能を使用するには、SMTPを構成設定する必要があります。詳細については、17ページの「SMTPを構成設定する」を参照してください。

このプリンタの警告メッセージを設定する方法

- 1 内蔵 Web サーバにアクセスします。
- 2 [Network Setup (ネットワーク設定)] メニューから [Alerts Message (警告メッセージ)] リンクをクリックします。



フィールド	説明
Display Name (表示名)	警告メッセージの送信者として表示される名前
Email Address (E メールアドレス)	警告メッセージが送信される E メールアドレス
Please Enter Administrator Password (管理者パスワードを入力してください)	設定されている場合は、管理者パスワードを入力します。標準設定ではパスワードは設定されていません。その場合、このフィールドは空白にします。

これらのフィールドの下にあるチェックボックスは、このアドレスで受信する警告の種類に対応しています。各ユーザに対して送信する警告を、それぞれの説明の横にあるボックスをクリックして選択します。選択されたすべてのボックスに対応する警告がこのアドレスに送信されます。Alert 1 と Alert 2 を個別に設定することにより、異なる警告を 2 人のユーザに送信することもできます。

サンプル警告メッセージ

以下に、カバーが開いていることを知らせる警告メッセージの形式を示します。二重引用符 ("") で囲まれたテキストは、ユーザによって入力されるフィールドの名前です。まるかっこ内に注記されている場合を除いて、これらのフィールドは「Alerts Message (警告メッセージ)」設定ページにあります。

差出人："Display Name (表示名)", <"System Admin E-mail (システム管理 E メール)">
(「SMTP」設定ページの [System Admin Email (システム管理 E メール)] フィールドにあります)
宛先："E-mail Address (E メールアドレス)"
件名：Alert Message (警告メッセージ) - <Cover Open> (<カバーが開いています>)

本文：

DEVICE NAME (デバイス名)："System Name (システム名)" (「SMTP」設定ページにあります)
DEVICE MODEL (デバイス機種)：Lexmark X500 シリーズ

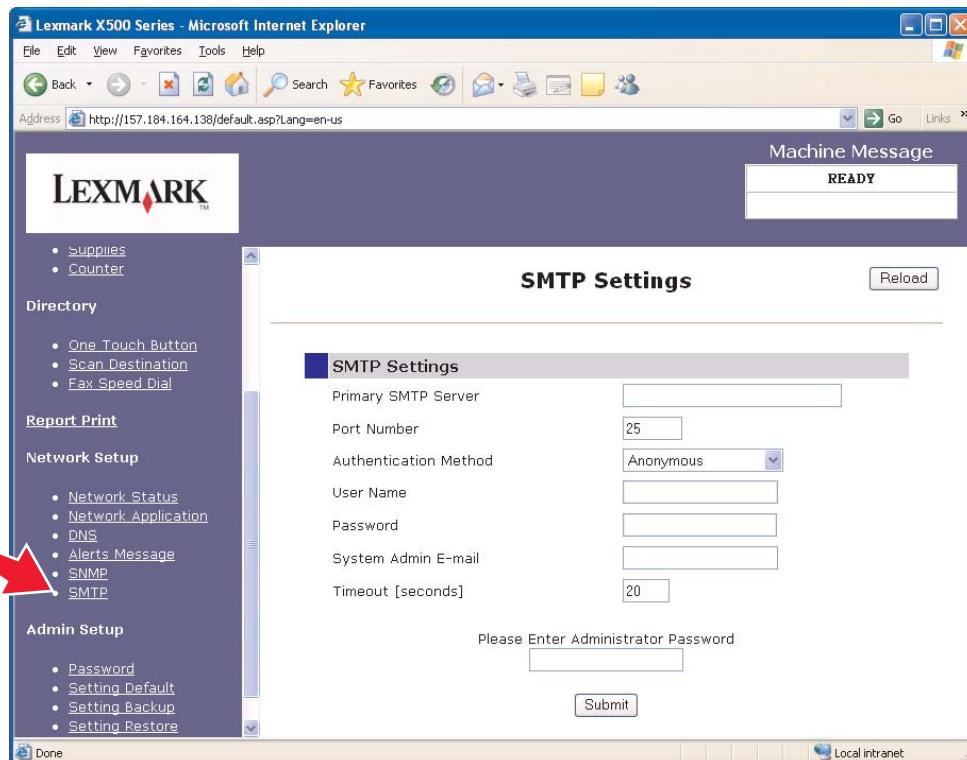
MAC ADDRESS (MAC アドレス) : 00:00:00:00:00:00 (プリンタ MAC アドレス)
LOCATION (場所)："System Location (システムの場所)" (「SMTP」設定ページにあります)

デバイスが検知した内容：

!!!! <Cover Front Open> !!!! (!!!<フロントカバーが開いています>!!!!)

SMTP を構成設定する

SMTP 設定を行うには、Web ページ左側の [Network Setup (ネットワーク設定)] メニューから [SMTP] を選択し、以下の説明に従って情報を入力します。E メールアドレスへのスキャンデータの送信や警告メッセージを機能させるには、この設定が必要です。この情報のほとんどは、ご利用の E メールサービスプロバイダの Web サイトに記載されています。



フィールド	説明
Primary SMTP Server (プライマリ SMTP サーバ)	SMTP サーバのアドレスを入力します。この情報については、ご利用の E メールプロバイダに問い合わせるか、プロバイダの Web サイトを参照してください。
Port Number (ポート番号)	SMTP サーバが使用するポート。ご利用の E メールプロバイダから指定がない限り、この番号は 25 に設定してください。
Authentication Method (認証方法)	一部の SMTP サーバでは認証が必要です。ご利用の E メールプロバイダで認証が必要な場合は、ドロップダウンリストから適切な方法を選択します。
User Name (ユーザ名)	SMTP 認証のユーザ名。認証が必要ない場合、このフィールドは空白にします。
Password (パスワード)	SMTP 認証のパスワード。認証が必要ない場合、このフィールドは空白にします。

SMTP を構成設定する

フィールド	説明
System Admin E-mail (システム管理 E メール)	システム管理者の E メールアドレスを入力します。プリンタから送信されるすべての E メール通知（警告メッセージまたは E メールアドレスへのスキャンデータの送信通知）では、送信者として、このフィールドに入力されたアドレスが使用されます。このフィールドに「johndoe@youremailprovider.com」と入力した場合、通知は「johndoe@youremailprovider.com」から送信されたメッセージと同じように表示されます。このフィールドを空白にした場合は、送信者アドレスとして通知の受信者自身のアドレスが表示されます。つまり、そのメッセージは自分が送信した E メールとして表示されます。ここに E メールアドレスを入力する場合は、必ず有効な E メールアドレスを入力してください。有効でない場合、この機能は動作しません。
Timeout [seconds] (タイムアウト [秒])	システムがタイムアウトを待つ時間（秒単位）。
Please Enter Administrator Password (管理者パスワードを入力してください)	設定されている場合は、管理者パスワードを入力します。標準設定ではパスワードは設定されていません。その場合、このフィールドは空白にします。